

4年生の夏期講習

【授業のねらい】

国語

「ことばを学び、そこからイメージしていく」という学習を発展させ、「文章のテーマに対する具体的なイメージを豊かにしていくトレーニング」を行います。ふだんは触れることの少ないテーマについて、先生・生徒間でのやりとりを行うことで、より多様な視点を得ることをねらいとします。また、知識分野については部首やことわざ・慣用句といった基礎語句、文章別の読解法の基本となる「まとめ・くわしいことば(具体化と抽象化)」、「対になることば・似たことば(対立概念や類義)」など、前期学習のダイジェスト復習を行います。

【国語科から】 ノートの大切さと基本的な学習

テキストの構成は、文章読解と知識分野および漢字になります。各回のテーマをもとにして読解の授業が行われるわけですが、そのとき重要なのが【ノート】です。先生が黒板に書いたことや話したことをきちんとノートに取りましょう！そのノートをもとに復習をします。また、本文は復習としてきちんと音読をしましょう。漢字、語句は一学期の復習で、家庭学習用になります。きちんとペースを作って学習しましょう。



算数

計算全般について、徹底的に練習することが大きなねらいになります。整数の計算から小数、分数の計算まで、小学校で取り扱う『数』をひと通り学習し、「計算のできる子」になることを目指します。それには、単にやり方だけを覚えるのではなく、数のしくみから理解することが大切になります。そこで、方法を忘れても思い出せるような授業を展開し、理解を深めます。特に、分数については、特別なものではなく「整数、小数の計算」の延長にあることを知り、乗法、除法の計算のしくみの理解につなげていきます。

【算数科から】 テーマの解説→問題演習→答え合わせ、解説の流れで授業を展開します。

解説の時間が主なので、通常とは違い、家に帰ったら授業中に扱わなかった問題に挑戦してください。集中力を持って授業に臨まなければ、家庭で問題を解くことが出来ないので注意しましょう。夏期カリキュラムの小数と分数は手を動かす練習が必要です。夏期講習中にしっかりと練習する時間を設けることと計算のスピードを養う目的で、まとめテストの前に特別演習日を設けます。さらに、算数授業の一環として、短期集中の「計算演習特訓」を行います。

社会

地図帳を通して、日本のまわりと気候の特色を理解し、現在の日本の農業・工業の全体像をつかむことが大きなねらいです。日本のまわりを流れる海流や季節風が日本の気候にどのような影響を与えているか、そして、日本の気候が農業にどのような影響を与えているかを結びつけて理解し、それらをもとに考える力・考える姿勢を育てます。

この夏で現在の日本の農業・工業の全体像をつかむことによって、9月からの地方別地理の学習にスムーズに入っていけるようにします。そして、地方別地理の学習にとって何よりも大切な地図帳を開く習慣を身に付けてもらいます。

理科

まずは、前期で学習した植物、動物に関する基本知識を整理します。また、4年生後期で学習する「天体」はなかなか理解しづらい単元ですが、その単元にスムーズに入っていくための準備として、「太陽・月・星」についての基礎知識を学びます。さらに「じしゃく」について、4年生のうちに身につけておきたいじしゃくの性質について学習します。いずれも、単なる知識のつめこみではなく、理科的な観察する眼、調べることの大切さを知ってもらうことを伝えていきたいと思っています。

【4年生／授業内容】

回数	国語		算数	
	読解学習	知識学習	メインテーマ	復習テーマ
第1回	説明文 生きもののふしぎ	部首	整数の計算	整数の混合計算
第2回	説明文 ものづくりの歴史	かなづかいとおくりがな	小数の計算1	たし算とひき算
第3回	説明文 社会のひろがり	ことわざ・慣用句	小数の計算2	かけ算とわり算
第4回	説明文 コミュニケーション	対になることば・似たことば	小数の計算3	わり算
第5回	文学作品 他者理解①家族	まとめることば	分数の計算1	たし算とひき算1
第6回	文学作品 他者理解②友人	くわしくすることば	分数の計算2	たし算とひき算2
第7回	文学作品 他者理解③動物	擬態語	分数の計算3	たし算とひき算3
第8回	文学作品 他者理解④対立	擬声語	分数の計算4	かけ算
第9回			分数の計算5	わり算
第10回			分数の計算6	小数と分数の混合計算
	理科		社会	
回数	各回の内容(テーマ)		各回の内容(テーマ)	
第1回	植物		日本のまわり(海、海流、島、まわりの国)	
第2回	動物とこん虫		気候(日本の気候の特色)	
第3回	天体の観測		農業(米作り・農地の開拓)	
第4回	じしゃく(磁石)		工業(工業の種類)	